

釧路市地域公共交通活性化協議会 平成20年6月9日設置



概要

釧路市は、釧路駅を起点に路線バスが各方面へ運行しているが、商業施設や医療機関の郊外移転、中心市街地の空洞化に伴って、マイカーの優位性が高まるとともに、運行効率の低下により路線バスの採算が悪化している。このため、公共交通の効率性・利便性の向上を目指し、バス路線の再編や郊外部におけるデマンドバス・乗合タクシーの導入等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR根室本線（釧路駅など9駅）、釧網本線（東釧路駅）
- ・くしろバス（株）（市内線、白糖・厚岸方面郊外線）
- ・阿寒バス（株）（市内線、阿寒・羅臼方面郊外線）
- ・都市間バス（5社共同運行による札幌、北見、根室線）運行
- ・釧路空港

○地域公共交通の課題

- ・商業施設・医療機関の郊外移転への対応
- ・路線バスの運行の効率化
- ・マイカーの優位性が高いことによる公共交通離れ

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査（アンケート調査）
- ・路線バスの効率的な運行の検討
- ・郊外部に適した公共交通サービスの検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

- ・バス路線の再編・効率化の検討
- ・郊外におけるデマンドバス・乗合タクシー等導入の検討

